

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成25年2月)

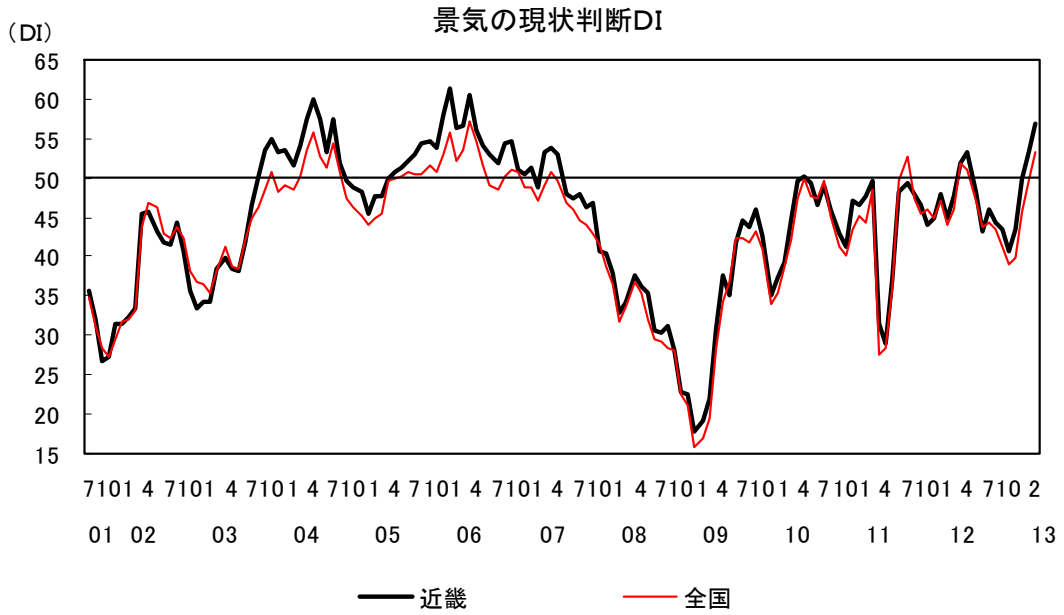
～株高効果が拡大、現状判断は06年以来の水準に～

- 景気ウォッチャー調査・2月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が4ヶ月連続で上昇、先行き判断も5ヶ月連続の上昇となった。
- 現状判断は、主に株高効果に支えられ、百貨店を中心に高額品の動きが好調となったほか、自動車の販売にも円安・株高の好影響が出る形となった。また、旧正月を迎えたアジアからの観光客が、円安の影響などで例年よりも増えているといった声も聞かれる。
- ただし、決して消費全般が好調なわけではなく、食料品や日用品などでは依然として厳しい動きがみられるなど、全体的な節約志向は依然として続いている。
- 一方、先行き判断については、政府による経済対策の実施や、円安・株高の継続に対する期待がDIの上昇につながっている。それに加えて、住宅を中心おして消費増税の駆け込み需要が出てくる期待も高まっている。
- ただし、その反対に、増税が節約志向の強化につながるとの声や、4月に予定されている電気料金の引上げを警戒する声のほか、特に企業の間では円安による収益悪化を懸念する声も少なくない。

◎「高額消費」関連のコメント(現状・家計関連)

やや良くなっている	百貨店(企画担当)	・新年の高額の福袋や高級時計の売行きが好調である。海外の人気ブランドに関しても、値上げ前とはいえ通常期の3倍近い売上となっている。
	百貨店(営業担当)	・高級宝飾品や高級バッグを購入する際、同じような商品であれば、より上質で、より高額な商品を買う傾向が強くなってきている。
	百貨店(販促担当)	・今月は入店客数、購買客数及び客単価が前年を上回り、好調に推移している。ただし、内容は高額品の販売増加や寒気の継続によるセール売上が中心であり、手放しで上向きとはいえない。
	百貨店(服飾品担当)	・皮革商材などの高額品の動きが例年に比べて良くなっており、良い物ならば多少お金をかけても手に入れたという客の気分がうかがえる。
	百貨店(マネージャー)	・2月に入り、冬物の最終処分については全般に動きが悪いが、一部春物のスプリングコートなどに動きが出てきている。また、今年はひな人形の動きが非常に良い。百貨店のひな人形は祖父母が孫のために購入するケースが多く、百万円を超える高額なセットも好調に推移している。美術品、呉服、輸入時計などの高額品の動きも好調である。
	百貨店(店)	・今まで購入が控えられていた高額品が、少しずつではあるものの動くようになってきている。
	百貨店(外商担当)	・宝飾品や海外の高級ブランド品の売行きが上向ってきている。株価の上昇が富裕層の消費マインドに大きく影響している。
変わらない	旅行代理店(経営者)	・昨年来、前年を上回って動いていた海外旅行は、竹島、尖閣問題で落ち込んでいるが、1月からはその他の地域の伸びで完全にカバーされ、前年比で120%以上の伸びとなっている。特に、欧州や米国などの高額商品の受付が増加している。
	旅行代理店(営業担当)	・客の旅行代金の低価格志向は強いが、高額、高品質商品の販売の動きが良くなっている。
	百貨店(売場主任)	・高額品の動きが引き続き堅調に推移するなか、今月は円安による海外ブランドの値上げ前の駆け込み需要もあり、特に動きが良かった。ただし、衣料品関係は引き続き低調で、来客数も前年を上回っていないことから、消費拡大の動きは感じられない。
	百貨店(売場主任)	・今月はアパレル、雑貨共に売上が不調であり、目標を下回る見込みである。一部の高額品に好調な動きが見受けられるものの、全体的に売上が上向きとはいえない状況にある。モノが充足しているなか、緊急に必要な商品はともかく、客はよほど魅力のある商品以外は購買に対して慎重である。
	百貨店(売場マネージャー)	・商品や分野によって好不調の動きが全く違う。高額品については相変わらず好調に推移しているが、ミセスを中心とした衣料については、気候の影響もあるのか低調な推移となっている。ただし、食の物産展など大いに反響があり、少しぜいたくな消費とハイエンドの消費に大きく分かれている。
	百貨店(商品担当)	・円安、株高基調ではあるが、一部の高額品に動きはあるものの、全体的には一進一退である。例年よりも気温が低い傾向も、ここにきてマイナス要因となっている。
	百貨店(外商担当)	・一般品の動きは変わらない。株価は上がっているが、高額品の動きも鈍い。
スーパー(経理担当)	・景気の上向き傾向や高額品の動きの改善などが報道されているが、全体的に売上の動きは鈍く、日用品は引き続き客の節約志向が強い。	

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		年 11								12								13								
		月 2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
現状判断	近畿	49.6	31.5	28.9	37.2	48.2	49.3	48.1	46.5	44.1	44.9	48.0	44.8	47.6	52.0	53.3	48.2	43.2	45.9	44.2	43.4	40.8	43.5	49.8	53.2	56.8
	(全国)	48.4	27.7	28.3	36.0	49.6	52.6	47.3	45.3	45.9	45.0	47.0	44.1	45.9	51.8	50.9	47.2	43.8	44.2	43.6	41.2	39.0	40.0	45.8	49.5	53.2
先行き判断	近畿	49.5	28.8	40.2	45.2	49.4	48.0	46.4	47.5	46.6	46.3	44.4	47.3	51.3	49.1	51.2	46.9	48.1	47.0	44.6	41.9	45.0	45.7	53.6	59.8	61.2
	(全国)	47.2	26.6	38.4	44.9	49.0	48.5	47.1	46.4	45.9	44.7	44.4	47.1	50.1	49.7	50.9	48.1	45.7	44.9	43.6	43.5	41.7	41.9	51.0	56.5	57.7